

## 本時のねらい

ジャポニズムを深く考察しよう。

## 本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- デジタル教科書の使用により、美術作品を細部まで美しく鑑賞できることから、美術への興味関心を引き出す。
- デジタル教科書の画像を使用し、オクリンクでジャポニズムをテーマにレポート作成・提出をする。

## 活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- デジタル教科書
- ・ミライシード（オクリンク）
- ・Google Classroom

## 本時の展開

| 学習の流れ       | 主な学習活動と内容                                                                                                                                                         | ICT 活用のポイント・工夫                                                                                                                                |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 導入<br>(10分) | <ul style="list-style-type: none"> <li>○デジタル教科書を開く。</li> <li>○めあての確認をする。<br/>「ジャポニズムを深く考察しよう」</li> <li>○デジタル教科書を使用し、前回の授業内容「ジャポニズム」を振り返る。</li> </ul> <p>【写真1】</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○Google Classroom の教科のクラスルームにデジタル教科書のリンク URL を示しておく。</li> <li>○ペンツールを使用し、デジタル教科書に要点を書き込ませる。</li> </ul> |
| 展開<br>(35分) | <ul style="list-style-type: none"> <li>○「ジャポニズム」レポートの作成をする。<br/>日本と西洋の文化を比較し、共通点はないか等、自分で気づいたことをレポートにまとめる。</li> </ul> <p>【写真2】</p>                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>○スクリーンショットの方法を示し、「どうすれば見る人により伝わるレポートになるか」の表現方法について伝える。</li> <li>○他のクラスの作品も、参考として提示する。</li> </ul>       |
| まとめ<br>(5分) | <ul style="list-style-type: none"> <li>○提出されたレポートについて交流する。</li> <li>○本時の振り返りと次回の伝達をする。</li> </ul> <p>【写真3】</p>                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○オクリンク「画面共有」にて、友達のレポートを見る。</li> </ul>                                                                  |

## 1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真1】デジタル教科書を見て、「ジャポニズム」について振り返りをする様子



【写真2】オクリンクを使って、レポートを作成している様子



【写真3】提出されたレポートを紹介し、生徒端末に画面共有している様子

## 児童生徒の反応や変容

- 生徒たちはデジタルツールを感覚的に細部まで鑑賞し、抵抗感なく使用できていた。
- 生徒たちは美しいデジタル教科書に大変興味を示していた。
- 1人1台端末を活用することにより、迅速にレポート作成ができていた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- 成果物の共有が容易にできる。
- 机上の端末の画面を見るため、黒板やモニターからの距離による見えにくさが解消される。
- オクリンクを使用することで、全員がレポートの完成形をイメージしやすかった。